

平成18年度 基幹種雄牛「^{けんふじ}憲藤」「^{やすとしなみ}安敏波」「^{さちしげなみ}幸重波」

畜産試験場

1 取り上げた理由

肉用牛集団育種推進事業による和牛産肉能力検定は、優れた宮城県産の種雄牛を造成し、地域の肉用牛の改良を推進するため実施されている。検定の結果、宮城県の肉用牛改良委員会で「憲藤」「安敏波」「幸重波」の3頭が基幹種雄牛として認定されたので、その特性と交配指針を普及技術とする。

2 普及技術

- 1) 「憲藤」は父牛に茂勝，母父に広島県の血統を持つ宮滝を持つ種雄牛である(表1)。体深，体伸に優れ，雌牛の体型改良に有効である。既存の基幹種雄牛（茂糸桜，奥北茂，神勝福，勝緑）と比較し，枝肉重量，ロース芯面積に優れている(表3，4)。
- 2) 「安敏波」は父に宮崎県の「安平」を持つ種雄牛(表1)で，脂肪交雑の能力に優れ，現場後代検定では，肉質等級4・5率が全体で65%，特に雌牛では88%となり，既存の基幹種雄牛と比べ肉質が優れている(表5)。
- 3) 「幸重波」は，3代に全て茂重波系という血統構成(表1)であるが，直接検定で一日増体量が1.81と宮城県歴代1位の成績を収めた。また，発育だけではなく，飼料要求量も既存の基幹種雄牛に比べ低く，効率の良い種雄牛である(表2)。

3 利活用の留意点

- 1) 憲藤は体深，体伸に優れ，雌牛の体型改良に有効である。①茂糸波，茂糸桜，第2波茂，奥北茂等の本県基幹種雄牛の娘牛，②北国7の8，紋次郎，菊谷等の娘牛，③鹿児島，宮崎からの導入牛への交配が望ましい。しかし，茂勝，茂重波の娘牛との交配では近交係数が19%，16%と高くなるので，注意が必要である(図1)。
- 2) 安敏波は肉質の改良には有効であるが，体積，枝肉重量が不足する。そのため，①茂勝，茂糸波，茂糸桜，第2波茂，奥北茂等の本県基幹種雄牛の娘牛で体積に優れたもの，②第1花国，北国7の8等の娘牛，③鹿児島・宮崎の導入牛への交配が望ましい(図2)。
- 3) 幸重波は枝肉重量，脂肪交雑の遺伝能力が非常に優れている。しかし，皮下脂肪と推定歩留の能力にやや難がある。①茂糸桜，第2波茂，奥北茂等の本県基幹種雄牛の娘牛，②第1花国，北国7の8，紋次郎，菊谷，第6栄等の娘牛，③鹿児島・宮崎の導入牛への交配が望ましい。しかし，茂勝，茂糸波，秋重，茂重波との交配は近交係数が12%，16%，12%，16%となるので注意が必要である(図3)。

(問い合わせ先：畜産試験場酪農肉牛部 電話0229-72-3101)

4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 肉用種雄牛の検定 昭和55年～
- 2) 参考データ

表1 生年月日, 産地, 血統, 特性(優点・欠点)

名号	生年月日	産地	父	母方祖父	母方曾祖父	優点	欠点
憲藤	H11.3.12	松山町	茂勝	宮滝	茂重波	資質, 体深, 体伸	下腿, 肘後
安敏波	H12.10.13	南方町	安平	茂重波	糸光	資質, 体深, 体伸	体上線, やや肩後
幸重波	H12.6.5	中田町	茂糸波	秋重	茂重波	発育, 資質, 体深, 体伸	尻, やや外腿

表2: 直接検定

	1日平均 増体重	飼料要求率 ^(注2)			
		濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN
憲藤	1.26	4.54	2.06	0.58	4.30
安敏波	1.50	5.04	1.99	0.56	4.63
幸重波	1.81	3.71	1.47	0.46	3.42
基幹 ^(注1)	1.29	4.51	1.91	0.57	4.27

注1: 基幹種雄牛「茂糸桜」, 「奥北茂」, 「神勝福」, 「勝緑」の平均値
 注2: 濃厚(粗)飼料要求率 = 全摂取濃厚(粗)飼料(kg) / 検定期間中増体重(kg)
 DCP・TDN要求率: 濃厚飼料は、濃厚飼料要求率にDCPの配合割合
 (濃厚12.5%、粗飼料5.7% (重量比) をかけて算出。粗飼料は、日本標準飼料成分表より算出。)

表3 間接検定

	頭数	1日増体量 (kg/day)	枝肉重量 (kg)	ロース芯 (cm ²)	BMS No.	肉質等級 4, 5率
憲藤	去: 10	0.83	342	53	9.7	100
基幹 ^(注)	去: 41	0.89	314	46	8.4	98

注: 基幹種雄牛「茂糸桜」, 「奥北茂」, 「神勝福」, 「勝緑」の平均値

表4 フィールド検定

	頭数	出荷 月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 (cm ²)	BMS No.	肉質等級 4, 5率
去勢	5	30	434	58	5.6	60
憲藤 雌	5	32	384	58	5.2	40
全体	10	31	409	58	5.4	50
去勢 ^(注)	5	30	397	51	5.8	60
基幹 雌	41	31	356	52	6.9	78
全体	46	31	360	52	6.7	76

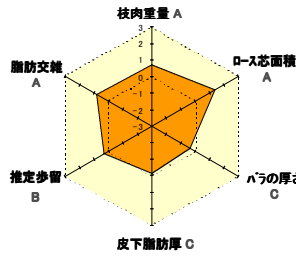
注: 基幹種雄牛「茂糸桜」, 「奥北茂」, 「神勝福」, 「勝緑」の平均値

表5 現場後代検定

	頭数	出荷 月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 (cm ²)	BMS No.	肉質等級 4, 5率
去勢	12	28	423	51	5.5	50
安敏波 雌	8	31	382	51	7.0	88
全体	20	29	407	51	6.1	65
去勢	8	28	435	50	4.8	38
幸重波 雌	10	29	386	52	5.5	50
全体	18	28	408	50	5.2	44



父	母父	母母父
茂勝(宮城)	宮滝(広島)	茂重波(兵庫)

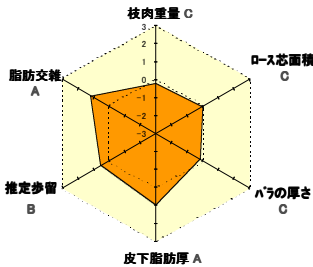


- ◎茂系桜, 第2波茂, 奥北茂等の本県基幹種雄牛の娘牛
- ◎北国7の8, 第1花園, 紋次郎, 菊谷等の娘牛
- ◎鹿児島, 宮崎からの導入牛
- 茂勝(19.7), 茂重波(16.1)との交配には注意が必要

図1 「憲藤」 交配の留意点



父	母父	母母父
安平(宮崎)	茂重波(兵庫)	永光(鳥取)

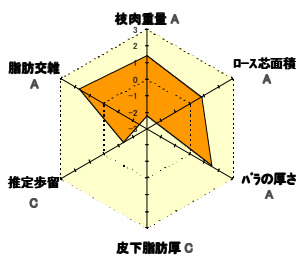


- ◎茂勝, 茂系波, 茂系桜, 第2波茂, 奥北茂等の本県基幹種雄牛の娘牛で体積に優れたもの
- ◎北国7の8, 第1花園等の娘牛
- ◎鹿児島, 宮崎からの導入牛
- 安平(13.7)との交配には注意が必要

図2 「安敏波」 交配の留意点



父	母父	母母父
茂系波(宮城)	秋重(宮城)	茂重波(兵庫)



- ◎茂系桜, 第2波茂, 奥北茂等の本県基幹種雄牛の娘牛
- ◎北国7の8, 第1花園, 第6米, 紋次郎, 菊谷等の娘牛
- ◎鹿児島, 宮崎からの導入牛
- 茂勝(11.9), 茂系波(16.4), 秋重(12.1), 茂重波(15.6)との交配には注意が必要
- 皮下脂肪厚, 推定歩留の能力に若干難があるため, 注意が必要

図3 「幸重波」号 交配の留意点

3) 発表論文等
なし